



小倉工業北辰会報

HOKUSHINKAI

Vol. 74

http://www.hokusin.net/ 発行：平成29年5月15日

転任のご挨拶



校長 奥田 邦夫

陽春の候、小倉工業高校北辰会の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

平成29年度の人事異動により、4月1日付にて平野孝幸校長先生（本年度より福岡工業高校校長）の後任として、田川科学技術高校より転任して参りました奥田邦夫と申します。平成17年4月から3年間、県立学校再編整備計画で開校した田川科学技術高校の初代校長としてご尽力いただいた笠原裕明北辰会会長の下、工業の教員として一緒にさせていただきました。私が、こうして小倉工業高校で再びお世話になり不思議なご縁を感じているところでもあります。

小倉工業は、文武両面でこれまで輝かしい実績を残し続けてこられたわけですが、これもひとえに北辰会の皆様方の物心ともに心温まる支援を頂いてきましたことは、生徒をはじめ保護者や職員にとりまして大きな支えになつていると心から感謝申し上げます。

この度のご縁は118周年の輝かしい歴史と伝統を誇り、日本一の工業高校を目指す本校で、これまで輝かしい伝統を築いてこられた歴代校長や職員、そして生徒や同窓会の皆様、今後も胸を張って誇れる新たな伝説を築いていかなければならないという重責に、私自身身の引き締まる思いであります。

倉生と初めての対面となった新転任式・始業式での生徒の落ち着いた所作や、入学式での肅然とした新入生の姿は、多くの卒業生の方々や諸先輩方が築かれた伝統の素晴らしさと重さを感じるものでした。

さて、今日では、これからの未来を予想することは極めて困難な時代になってきております。今後、若者を取り巻く社会情勢は決して楽観できるものではありません。緊迫した世界情勢の中で、我が国が直面する異常なまでの少子高齢化は、著しい生産労働人口不足を招くこととなります。このことは、国内で生産された食料や製品を購入してくれる消費者が減少することから、より生産労働人口が増加して購買が多く見込まれるインドやタイ、ベトナムに代表される東南アジア諸国へ、国内企業の製造拠点が移転すること、また、国内に留まる企業でも不足する生産労働人口を補填するため、海外からの労働者を多く受け入れていくという、正にグローバル化が急速に進んでいくことが予測されます。

さらに、世界経済の混迷化、産業構造の複雑化・多様化により、従来の産業分類を超えた複合的な産業が発展していくことも予想されます。また、人工知能（AI）の進化で「今後20年程度で現在の半数近くの仕事が自動化される可能性が高い」との予測さえある時代で、今後は、「知識の暗記・再生」を基本とした従来型の学力から、社会の変化に対応できる思考力や判断力・表現力を重視した学力が重要視されています。このような激動していく社会に、これからの日本を担う原動力として、また、地域・社会に貢献する産業人として活躍し、逞しく生き抜く倉生の育成に全力を果たす所存であります。

おわりに、今後とも同様のご支援、ご厚誼を賜りますようお願いいたしますとともに、北辰会の今後さらなるご発展を心より祈念し転任のご挨拶とさせていただきます。

平成29年度 北辰会総会

当番幹事：平成6年卒、平成18年卒

日時	平成29年5月28日(日)	時間	○受付：14時から
場所	小倉飯店		○総会：15時から
	北九州市小倉北区堺町1-8-14		○懇親会：16時30分から
	TEL (093) 521-8631	会費	¥5,000

懇親会では美女数名による「ベリーダンスショー」を予定しています。ゆっくりお楽しみ下さい。



倉工・北辰会との 出逢いに、感謝！



前校長(第29代校長)

平野 孝幸

北辰会の皆様、小倉工業高等学校
在任中は公私にわたり格別のお引き
立てを賜り厚くお礼申し上げます。
私にとって倉工の6年間は、これま
での教職生活の中でも最も充実した
期間でありました。倉工との最初の
出逢いは、忘れもしない平成18年4
月に、教頭として赴任させていただ
いた時であります。当時は北九州地
区の工業高校の学科再編の準備時期
であり、本校も平成19年度入学生か
ら現在の機械・電気・化学の3系、
5学科10コース体制となりました。
これまでの歴史と伝統を受け継ぎな
がらも皆さんと共に新たな小倉工業
高校の歴史と伝統を築いてきたとこ
ろです。常に就職率100%はもち
ろんのこと、陸上部をはじめとする
部活動の活躍、そして工業技術分野
では、技能五輪国際大会で卒業生3
人が金メダルを獲得するという快挙
もありました。まさしく文武両道を
校是とする倉工ならではの生徒達の

活躍でした。

その後、21年4月から県教育委員会
に2年間と戸畑工業高校の校長3年間
を経て、幸いにも平成26年4月に再び
倉工に勤務する機会をいただきました。
3年前の4月1日の着任時には、
篠崎門をくぐり右手にサイトウマコト
氏のオブジェ、左手に同氏の一本の矢
の壁画と満開の桜に迎えられ、そして
玄関で全職員に迎えていただいたこと
とが昨日のことのように思い出されま
す。校長在任中は、職員やPTA、そ
して北辰会の皆様に温かく支えていた
だきながら、一歩先を行く工業教育の
推進を目指し、グローバル化に対応し
た教育やほめて育てる教育の推進等に
取り組みました。特に本校卒業生の海
外での活躍を踏まえて、高校時代に一
層の国際感覚を身に付け、世界に羽ば
たく人材に成長して欲しいと願い、従
来のスキー修学旅行を海外研修に変更
しました。それは、早い時期からの海
外での体験を通じ、将来は地元産業
界を担う人材であるとともに、海外に
自らの知識・技術や製品をもって積極
的に打って出て行けるような人材に
育って欲しいとの考えからでした。

ている甲子園出場に手の届く、現実
のところまで来しました。今年度は全
校挙げて甲子園と考えていましたが、
一緒に実現できなくて大変残念です。
しかしながら、倉工野球部には是非
とも甲子園大会に出場して欲しいと
願っています。

私の在任期間にただ一つ残念であっ
たことは、倉工のため生徒の進路実現
やロボット製作をはじめとするハイレ
ベルな技術教育に熱心に取り組まれて
いた田中誠一先生を亡くしたことで
す。倉工にとっては大切な職員であ
り、私たちにとっては最高の仲間であ
った田中先生の意志や功績を、これ
から先も受け継いで行って欲しいと願
います。

教職生活最後となる本年4月から
は、兄弟校と言える福岡工業高等學校
の第27代校長として、次代を担う創造
的・実践的な技術者を育成するために、
毎日往復4時間かけて通勤していま
す。まだまだ心は倉工にあり、残りの
教職生活を最高の職員やPTA、そし
て北辰会の皆様とともに過ごし、創立
120周年に繋げることができなかつ
たことは大変心残りとなっています。

最後になりましたが、北辰会の皆様
には、母校倉工の更なる充実・発展の
ため今後とも格段のご支援とご協力を
お願いいたしますとともに、北辰会の更な
る発展と、会員の皆さまの益々のご健
康とご活躍を祈念して、退任の挨拶と
させていただきます。

村野藤吾先輩の孫 村野 永氏を招き 贈呈式挙行(旧八幡図書館建設部材)

5月2日創立記念日に、村野藤吾先輩(明治43年機械
科卒)の孫、村野 永氏をお招きして贈呈式を行いました。
昨年10月、村野藤吾先輩が設計した北九州市立旧八幡
図書館を解体する為、建設部材の一部である鋳造レン
ガ、階段手摺り、丸窓等を北九州市病院局から譲渡して
頂いた。

贈呈式にはこれらの部材を譲渡して頂くにあたり、市
病院局との交渉の橋渡しをして頂いた北九州市議会議員
奥村よし子議員(市議会運営委員長)にもご出席してい
ただきました。

母校生徒は村野藤吾先輩のものづくりに拘る姿に接する
事で今後のものづくりに生かして欲しいと願っています。

村野 永氏から村野藤吾先輩が残した作品の一部を譲
渡して下さるとのご意向を伺いました。これが実現する
と120周年に向けた最大の事業になると思います。

奥村よし子議員と小倉工業との関係は奥村議員のご主
人である奥村勘二氏(昭和51年工業化学科卒)、弟の白
土純正氏(昭和59年工業化学科卒)が小倉工業の卒業生
と深い縁があり、色々な面でご協力をいただいています。
昨年近畿支部総会の前日、松尾保(昭和43年機械科
卒)近畿支部長のご協力

で村野事務所をあちこち
探して廻ったがなかなか
見つかることができな
かった。宝塚市迄足を延
ばし、やっと自宅を探し
当てたが村野氏が不在で
あった為に翌日支部総会
当日に再度訪問し、面会
することができました。

そして今回小倉工業へ
のご来校となりました。松
尾近畿支部長に厚く御礼
申し上げます。



福岡支部創立50年 新たな絆を育てよう

同窓会の出会い 更なる発展へ

昭和43年4月1日、小倉工業高等学校同窓会福岡支部として発足し今年で、支部創立50年の節目を迎えました。

会長（現在の呼称は支部長）倉八房門（大10年電卒）に就任いただき、幹事会員と各職域の若手達の活躍で昭和43年9月6日に福岡支部発足会が福岡パライスで開催されました。

昭和58年の支部総会後に活動が休止になりましたが、平成4年有志による活動で北辰会福岡支部として石内支部長（昭和26年電卒）の基、再スタートを切りました。

それ以降、今日まで歴代支部長の指導と役員協力、毎年支部総会を開催し、同窓の和を築いてまいりました。

支部活動に中断の時期が有りましたが、今年支部発足50年の節目を迎え同窓の絆を大切に、永続的な発展を願いつつ50年へ出発致します。

今年の支部総会は、発足50年を多くの同窓と祝いたいと思います。
多くの同窓の参加をお待ち致します。

小倉北支部設立40周年

昭和52年7月17日、小倉市民会館会議室に於いて設立総会が行われました。今年で40年が経過し、更に50周年に向けて活動しています。

有志60名を超える参加者の最長老 松永春治先輩（大正13年機械科卒）が支部長に就任し、活発な活動が続けられました。

一時低迷した時期もありましたが、長野正景先輩（昭和29年機械科卒）が四代目支部長に就任し、支部総会その他に新春の集い、サマーフェスティバル等を企画し、支部の財政を確立して現在まで継続しています。

母校創立100周年事業には50万円を拠出、以後母校後輩育成の一助に教育振興基金として寄付を続けています。

最近支部会員が減少気味になっていますが、八代目 花谷牧夫（昭和49年機械科卒）支部長を中心に支部創立50周年に向けて役員、会員一丸となって北辰会本部を支えて行きたいと考えています。



小倉市民会館

設計：村野 藤吾（明治43年機械科卒）
現在は解体されて勝山公園内 大芝生広場となっています。

設立総会が行われた小倉市民会館

小倉北支部 サマーフェスティバルのご案内

日時 平成29年7月14日(金) 19時00分～
場所 小倉飯店 北九州市小倉北区堺町1-8-14
TEL (093) 521-8631
会費 ¥5,000

友人・知人
お誘いの上、
奮って
ご参加ください。

「北辰会中部支部」結成に向けて

北辰会中部地区世話人代表

友尻 圭（平成元年電子科卒）

株式会社日立産機システム 勤務

中部地区に在住する小倉工業卒業生の懇親会の活動は、2015（平成27）年12月に第1回目を実施し、それ以降、2016（平成28）年卒新人歓迎会、第2回懇親会を開催しました。

お陰様で中部地区の懇親会に参加された方、参加意思のある方を含めた同窓生は、昭和27年卒の大先輩から昨年の卒業生30名を含め67名となっています。今年母校を卒業し中部地区に就職された28名を加えると95名になります。

今年も既に新卒同窓歓迎会を6月10日（土）に実施する予定で準備を進めており、多くの方にご参加頂き、新社会人として中部地区で新たな人生をスタートする母校後輩を応援して参ります。

同窓の皆様ご存じのように、中部地区は、トヨタグループを中心に自動車産業のすそ野が広く、今後もMRJを中心とした航空機産業やリニア新幹線の開業に伴う産業の拡大が予想され、これからも多くの母校倉工生が就職されることが予想されます。

今後は、懇親会だけではなく、各支部の活動を見習って、色々な行事や企画をしていき、多くの方に参加頂くことで、全国で若い卒業生が最も多く集まる地域として、「北辰会中部支部」を立ち上げられるよう盛上げていきたいと考えています。皆様のご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。



～学校だより～

平成29年度創立記念日 OB講話

講師（敬称略）・講演題目

去る5月2日(火)創立記念日に恒例のOB講話が行われました。

昭和29年卒から平成27年卒までの卒業生20名により在校生への講話が行われました。事前の講話の内容によるアンケートで希望する講話を申し込み、真剣に受講していました。



- 井本 義孝 (昭和29年機械科卒)
 - 少年・超高齢社会を生きるには。
- 野見山 誠一 (昭和36年電気科卒)
 - 人生を勝ち抜く
- 有松 靖之 (昭和37年機械科卒)
 - 八幡製鐵所の生い立ちと技術系新入社員教育
- 松尾 保 (昭和43年機械科卒)
 - 交通事故に於ける救済・注意点
- 白川 真澄 (昭和42年電子科卒)
 - 科学・技術的クイズに挑戦してみよう
- 田中 時彦 (昭和46年機工科卒)
 - 漫画家とサラリーマンの二足のワラジ人生 (漫画を描いてみよう)
- 竹川 均 (昭和49年機械科卒)
 - 日本刀を通して見る日本の文化
- 泉 日出夫 (昭和61年機械科卒)
 - 社会に出てわかる高校時代に気づけばよかったこと
- 吉田 和志 (昭和63年設工科卒)
 - 花火(仕事)を通じて学んだ私の人生観
- 西岡 清隆 (平成2年化工科卒)
 - 電磁波について
- 播磨 修 (平成4年電子科卒)
 - 筋肉と心を鍛える方法
- 岡田 研一郎 (平成5年電気科卒)
 - 自分の将来設計(ライフプラン)を考えてみましょう
- 川上 正喜 (平成10年電子科卒)
 - 「ウェブ業界」のお仕事
- 小川 真司 (平成13年子機科卒)
 - 経営者に興味のある人に聞いてほしい話
- 大坪 奨平 (平成18年子機科卒)
 - あきらめなければ夢は叶う
- 野口 晃平 (平成19年電子科卒)
 - 世界一のレースへの挑戦
- 吉村 達也 (平成26年化工科卒)
 - 仕事とボランティア活動から学んだもの
- 下村 紘輝 (平成26年化工科卒)
 - 仕事の中に楽しさを見つける
- 金田 有輝 (平成26年化工科卒)
 - 医療の世界に入って皆さんに伝えたいこと
- 松永 莉奈 (平成27年化工科卒)
 - スポーツと体のケア・コンディショニングについて

教職員の異動

〔転出〕

- ▽平野 孝幸(校長) 福岡工業高校へ
- ▽山本 孝広(事務長) 戸畑高校(参事兼事務長)へ
- ▽小南 雄孝(電子機械) 八幡工業高校(教頭)へ
- ▽依田 文恵(国語) 行橋高校へ
- ▽佐藤 陽祐(地歴・公民) 防府高校佐波分校へ
- ▽川端 信広(機械) 菊田工業高校へ
- ▽華本 将光(電子機械) 菊田工業高校へ
- ▽岩倉 崇真(電子機械) 香椎工業高校へ
- ▽元木 真央(電気) 北九州市立門司特別支援学校へ
- ▽平野 繁治(電子) 菊田工業高校へ
- ▽藤井 直紀(事務) 東筑高校へ
- ▽金子 和昭(事務) 小倉南高校へ
- ▽榎谷 彩乃(事務) 公立学校共済組合福岡支部へ

〔転入〕

- ▽奥田 邦夫(校長) 田川科学技術高校より
- ▽柳本 憲男(事務長) 小倉商業高校より
- ▽天野 俊行(国語) 門司大翔館高校より
- ▽角 良浩(地歴・公民) 菊田工業高校より
- ▽田中 悟(機械) 菊田工業高校より
- ▽福島 毅(電子機械) 八幡工業高校より
- ▽寺尾 和彦(電子機械) 戸畑工業高校より
- ▽嘉手苺真紀(電子機械) 田川科学技術高校より
- ▽大西江利子(電気) 新規採用(岐南工業高校)より
- ▽三浦 均(電子) 菊田工業高校より
- ▽末松留里子(事務) 菊田工業高校より
- ▽西松 歩(事務) 中間高校より
- ▽松下 凌弥(事務) 八幡工業高校より
- ▽重松 恵理(事務) 小倉高校(家庭)より
- ▽松山 恭子(事務)

北辰会 年会費納入のお願い

新しい年度を迎え、今年も北辰会会費2,000円を納入して頂く時期になりました。会員一人ひとりの貴重な浄財である会費は、北辰会の運営を維持する最も重要なものです。北辰会事務局は、今後とも会員各位へのサービスの向上と母校の発展のために努力を重ね、事務の効率化と経費削減に努めていく所存です。北辰会の健全な活動の基本となります「年会費」の納入を宜しくお願ひ申し上げます。

教育振興基金への ご協力をお願いします

母校創立100周年を記念して設立された「教育振興基金」は、お陰様で順調に運用されています。昨年度も200万円を超える浄財を賜りました。ご協力いただきました皆様、誠に御礼申し上げます。

この浄財は平成29年度教育振興基金にあてられます。教育振興基金は母校にとつて無くてはならないものとなっております。奨学金の他、部活動の奨励、特徴のある後輩の育成、教育研究活動、国際交流研修の奨励と、幅広く後輩たちの活動を支援する制度です。

皆様方が培い築いてきた歴史と伝統ある母校、小倉工業高校を、更に飛躍させるお手伝いをお願い致します。

編集後記

昨年の秋季号からスタイルを一新しましたところ多くの方々から好評をいただきました。

今後まだまだ内容を充実していきたいと考えています。今年も秋季号にはOB数名の手記を掲載する予定です。同窓諸氏のご協力をお願いいたします。